

真空ガラス

耐熱強化ガラス パイロクリア® J パイロペア® J

複層ガラス

防火ガラス

防炎・防犯

強化・倍強度

合わせガラス

特殊機能ガラス

熱吸・熱線反射

板ガラス

装飾ガラス

鏡・カラーガラス

板ガラス応用
製品及び施工法

設計・施工・
使用上の注意

板ガラスの
光学的性能
熱的性能

製品
覧

関連項目頁

- ガラスを安全にお使いいただくために ⇒P.6
- 板ガラスの標準施工 ⇒P.158
- 設計・施工・使用上に関するご注意 ⇒P.171・P.172・P.174

「パイロクリア J」「パイロペア J」は、防火設備告示の例示仕様として使用可能な耐熱強化ガラスです。エッジ強度250MPa以上で管理された製品であり、スチール枠や、ステンレス枠を組み合わせることで、個別に大臣認定を受けることなく、防火設備の告示の例示仕様として使用可能です。

※防火設備として使用するためには、耐熱強化ガラスと枠を含めて告示の例示仕様に適用させる必要があります。

●特長

1 業界初 耐熱強化ガラスJIS認証

業界初 耐熱強化ガラスJIS認証 (JIS R3223:2017) を取得しました。

2 エッジ強度250MPa以上

耐熱強化ガラスJIS R 3223のⅡ類の要件であるエッジ強度250MPa以上で管理された製品です。

3 ワイヤレス防火ガラス

網のないクリアな視界と自然な色調が得られます。ワイヤレスのため、錆割れの心配がなく熱割れも発生しにくいです。

※製品詳細は弊社HPをご参照ください。

(https://glass-wonderland.jp/product/pyroclear_j/)

●マーク表示

外観上、通常の板ガラスと区別するため、コーナー部の1カ所に所定のマークを表示しています。

PYROCLEAR J



●ご使用イメージ

スチール枠・ステンレス枠が使用されることが多い1階まわりにおいて、パイロクリア J・パイロペア Jは安全で明るい空間づくりを実現できます。



●製品ラインナップ

	ガラス構成(※1)	告示対応寸法(mm) カック内は製造可能寸法(※2)	種類 エッジ強度(※3)
パイロクリアJ	耐熱強化ガラス8mm	幅700~1,200×高さ850~2,400 (最小300×200~最大3,000×2,400)	JIS R 3223 II類 250MPa
パイロペアJ	耐熱強化ガラス8mm+中空層 + Low-Eガラス5mm ①	幅700~1,200×高さ850~2,400 (最小350×200~最大2,408×1,748)	
	耐熱強化ガラス8mm+中空層 + Low-Eガラス6mm ②	幅700~1,200×高さ850~2,400 (最小350×200~最大3,000×2,400)	
	耐熱強化ガラス8mm+中空層 + Low-Eガラス8mm ②	幅700~1,200×高さ850~2,400 (最小350×200~最大3,000×2,400)	
	耐熱強化ガラス8mm+中空層 + Low-Eガラス10mm ②	幅700~1,200×高さ850~2,400 (最小350×200~最大3,000×2,400)	
	耐熱強化ガラス8mm+中空層 + Low-Eガラス12mm ②	幅700~1,200×高さ850~2,400 (最小350×200~最大3,000×2,400)	

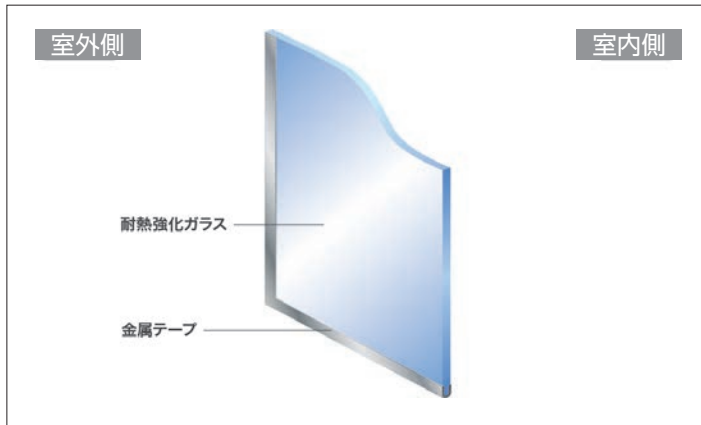
●パイロペアJで対象となるLow-Eガラスの仕様

番号	Low-Eガラスの仕様	Low-Eガラス板厚
①	ヘアマルチスーパー グリーンS ヘアマルチスーパー クリアS	5mm
①・②	ヘアマルチLow-E シルバー54(Low-E膜 第3面使い) ヘアマルチLow-E クリアK74	5mm、6mm、8mm、 10mm、12mm

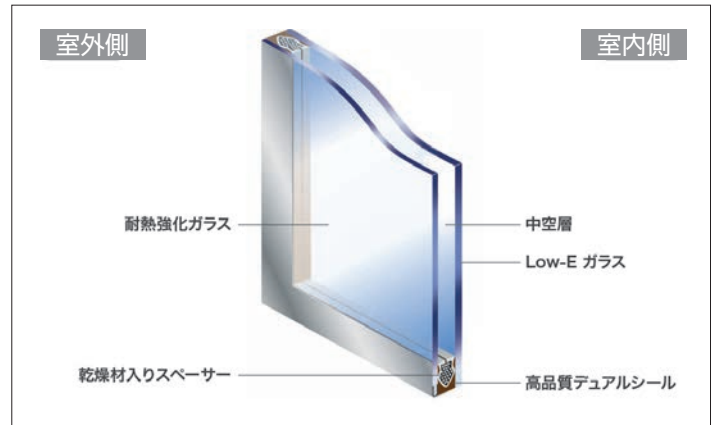
- ※1 Low-Eガラスは垂直放射率0.03~0.07が建築基準法告示第1360号の対象となります。
- ※2 カック内の製造可能最大寸法はガラス単体のものであり、告示としてご使用される場合は告示対応寸法を確認の上、ご使用ください。また、告示対応寸法は躯体開口内寸法のため、ご注意ください。
- ※3 耐熱強化JISのI類品もありますので、別途お問合せください。

●構造図

パイロクリアJ



パイロペアJ



建築基準法告示(第1360号)には、長年に亘って網入板ガラスが例示仕様として記載されていましたが2019年3月29日改正告示第470号が公布され、旧告示(第1360号)の「鉄及び網入ガラスで造られたもの」に耐熱強化ガラス仕様が追加されました。当改正では耐熱強化ガラスの仕様として、エッジ強度250MPa以上を満たす必要があります。「パイロクリアJ」は「JIS R 3223:2017 耐熱強化ガラス(II類)」におけるエッジ強度250MPa以上を満足します。クリアな視界の網無し防火ガラスとして、スチール枠やステンレス枠と組み合わせて、告示仕様に適用させることにより、個別に大臣認定を受けることなく使用することができます。

●国土交通省 告示改正概要抜粋(2019年3月29日)

サッシ種類(※1)	ガラス種類(※2)	躯体開口寸法(幅×高さ)
スチール枠またはステンレス枠 (FIX窓のみ)	・単板仕様: 耐熱強化ガラス ・複層仕様: 耐熱強化ガラス+Low-Eガラス	700~1,200mm × 850~2,400mm

- ※1 告示仕様に従ったサッシ及び施工に適用させる必要があります。
- ※2 耐熱強化ガラス: 厚さ6.5mm以上、エッジ強度250MPa以上
※弊社の発売仕様は、厚さ8mm品のみとなります。
Low-Eガラス: 厚さ5mm以上、垂直放射率0.03~0.07
複層仕様は屋外側が耐熱強化ガラス、屋内側がLow-Eガラス

「防火設備の構造方法を定める件(告示)」の参考資料:
旧(一社)カーテンウォール・防火開口部協会 (http://www.cw-fw.or.jp/Portals/0/cwfw/pdf/R11227_kokuji1360sankou.pdf)

※2021年2月時点での防火関連法規を基に作成しております。防火関連法規に変更がある場合は、変更後の防火関連法規に従ってガラス及び開口部の仕様選定、施工等を実施ください。また、建築主事の指示がある場合には、その指示に従う必要がありますのでご注意ください。

真空ガラス
複層ガラス
防火ガラス
強化ガラス・倍強度
合わせガラス
特殊機能ガラス
熱吸・熱反射
板ガラス
装飾ガラス
カラーガラス
板ガラスの製品及び施工方法
設計・施工・注意
ガラスの光学的性能・熱的性能
製品一覧